

【研究主題】

「グローバルな視野をもちながら、ローカルにたくましく生きる自立した生徒の育成」—地域に根ざし持続可能な社会を目指す社会科学学習と「翼プロジェクト」との連続性を探る—

【開発するプログラムの概要】

社会科を核として系統を重視した教科等横断的なカリキュラムの編成・充実を図り、社会科学学習を中心として、地域の課題を発見し、自ら課題の解決に向かう探究学習プログラムを開発することで、グローバルな視野を持ちながら、ローカルにたくましく生きる自立した生徒の育成を目指す。

実践内容 ※開発するプログラムから一部抜粋

<中学校・3年生> 社会科（公民的分野）

【単元名】民主政治と政治参加（C（2））

【主な単元の目標】民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決に向けて、主体的に関わろうとする。

【学習課題】よりよい社会を築くために、私たちはどのように政治に関わっていくべきだろうか。

時間	主な学習内容	
	社会科（公民的分野）	関連付けた他教科等
1	単元の導入 よりよい社会の実現に向けて	
2-6	現代の民主政治	
7-15	国の政治の仕組み	
16-22	地方自治と私たち ・住民自治と団体自治 ・地方自治の仕組みと財源 ・地方自治の課題 ・政治参加 「長野市の課題とこれからのまちづくり—防災の視点から、地域のために自分たちができていることを考えよう。」 ・地方自治のまとめ	総合的な学習の時間 (地域貢献活動) 特別活動
23	大単元のまとめ よりよい社会の実現に向けて	

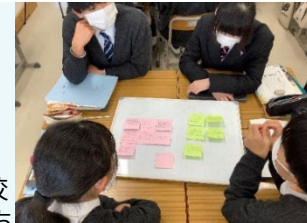
※単元名の（ ）内は学習指導要領の内容の該当番号
※このほか、2年生の地理的分野についても研究を行った。

【実践例】社会科（公民的分野）「地方自治と私たち」第21/23時

授業の概要

<概要>

- ・学習課題「長野市や地域で持続可能な社会を実現するために私たちができることは何だろうか？」に対し、地域の課題を追究する過程で生徒たちから発せられた「この地域の防災に対する備えはどうなっているか」という疑問と、地域の自治協議会から学校に投げかけられた地域課題「避難所について、地域と学校とで一緒に考えたい」を基に、「防災・安全」の視点から自分たちが地域のためにできる防災「避難所開設・運営マニュアル」の作成を試みた。
- ・授業を通して、「避難予定施設に関わる人たちみんなが、対応についてあらかじめ話し合っておく必要がある」「住民一人一人が地元を大切に思い、地域住民が運営に参加する意識をもつことが大切」など、地域への帰属意識に基づいた提案をすることができた。



<指導上の工夫>

○地域や社会生活における具体的な課題等を自分との関わりの中で捉えられるようにするための指導上の工夫

- 生徒にとって身近で既習内容が生かせる地域の具体的な課題を、学習課題に設定する。
- ※地域の自治協議会から学校に投げかけられた地域課題と、生徒の学びの軌跡とを交差させた授業を構想した。

○社会科（公民科）と他教科等との連携

- 総合的な学習の時間「地域貢献活動(地域の魅力を調査し、発信する活動)」、特別活動「防災・減災学習」

専門家や関係諸機関等との連携・協働

- ・若槻自治協議会 防災担当者
- ・石巻西高等学校元校長

効果等

- ◆社会科だけでなく、3年間の総合的な学習の時間や修学旅行で学んできたことを生かしながら、自分たちの考える避難所開設・運営(校舍利用図・避難所運営のシミュレーション)を地域の住民自治協議会に提言することを通して、地域社会への参加の意義について体験的に学ぶことができた。
- ◆地域への愛着、防災意識の高まりの2つの視点から、学びを深めることができた。